



「アツまれ！夏休みの子ども達！！」

7月28日、夏休みがスタートし間もなく高崎財団との共催事業「アツまれ！夏休みの子ども達！！」が開催されました。

今年もたくさんの親子、学童のこどもたちが来場してくださいました。

- ・大ホール・人形劇団むすび座「かくれ山の大冒険」
来場者数・450人
- ・小ホール・まめっちょ presents・親子でわらべうたあそび

参加世帯・1回目7組
・2回目11組

- ・ぼくこくぼとつくてあそぼ！「プラとんぼ」
参加数・全3回・48人

今年は学校にチラシを配布することができ、来場時には配布されたチラシを握って楽しみに来てくださった親子がたくさんいました。

コロナ禍の生活も3年たつと、少しずつですがいろいろなイベントが再開はじめています。

ひとりでも多くの子どもたちに「楽しかった」という経験をしてほしいという願いで、毎年高崎財団と共催で実施しています。

子どもたちや親子が、ホールからできた表情は私たちのパワーの源です。

来年もぜひお会いできるのを楽しみにしています。

(事務局長 田口)

「メルヘンとあそびの世界展~25~」開催！

今年も「メルヘンとあそびの世界展~25~」が9月10日(土)~19日(祝月)で開催されます。

今年には25年目の節目年、テーマは「ふつうってなに？」。

ふつうに話したり、笑ったり、触ったりが危うく難しくなり、ふつうじゃなくなってしまった、のかな？ 改めて、ふつうって？ と愉しく考えてみました。

子ども劇場では、高崎シティギャラリーの第4、5展示室を18日(日)にはコアホールで「子ども寄席」を担当します。

第4展示室は、「ストローキャッチャー」を作り、掴めそうで掴めないもどかしさを体験、普段何気なく使っている指先の凄さを改めて感じるかも、

第5展示室は、「ぐにゃぐにゃ・ざらざら・でこぼこ迷路」裸足になって足裏から色々を感じながら遊べます。

また、シティギャラリーから市役所を回り、不思議なポイントを探す「フォトロゲーム」も出来ます。

18日(日)の「メルヘン子ども寄席」は、若手落語家の柳家小もんさん(前橋市出身)の落語と太神楽(曲芸)のステージがあります。身振り手振り、表情を交え、一人で何役もこなす落語とダイナミックな日本の曲芸を目の前で楽しめます。こちらも必見です。

毎年準備にバタバタですが、メルヘン展の魅力は、なんと言っても高崎市の街なかで10日間、遊びの場を造れることです。会期中に何度も会場に来てくれる子ども達も多く、「今年も来たよ！」と毎年楽しみに来場してくれる方も沢山います。

コロナ禍でまだまだ心配はあるのですが、やっぱり体験して実感する楽しさは、何者にも代えがたい本当に大切なことです。

まだ、どれも現在準備進行中！ どんな感じになったか、是非、ご来場ください。

(理事長 高見澤)

◎ NPO 法人 高崎子ども劇場 ◎

2022年8月26日発行



◆住所 高崎市飯塚町46-6 TEL:027-386-6454 Fax:027-386-6453

メール*yha_kodomo@yahoo.co.jp Facebook*高崎子ども劇場で検索

←公式LINEアカウント

ホームページ→

HP www.takasaki-kodomo-gekijou.org/

☆いつからでも入会できます 入会金*世帯500円/会費*世帯月額1500円

◆支援会員(個人・団体)・サポーター会員も募集中

※舞台鑑賞・他活動には別途参加費がかかるものがあります。詳細はお問合せ下さい

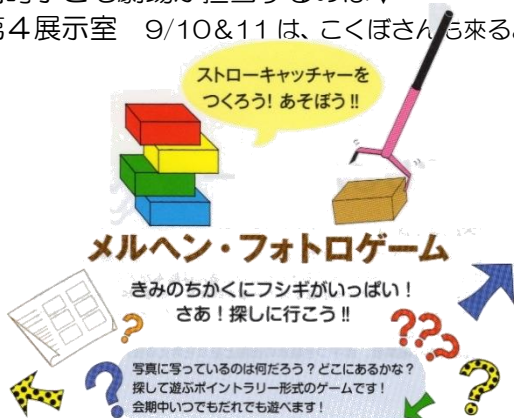


2022年 9月以降 活動予定

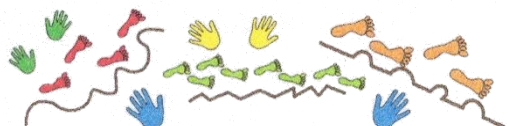


メルヘンとあそびの世界展 開催!

9/10(土)~19(祝月)高崎シティギャラリー
10:00~17:00 詳しくは右ページ参照
高崎子ども劇場が担当するのは↓
第4展示室 9/10&11は、こくぼさんも来るよ!



第5展示室 ぐにやぐにや・ざらざら・
でこぼこ迷路



9月18日(日)「メルヘン子ども寄席」

高崎シティギャラリーコアホール

10:00 開場 10:30 開演

上演 60分 全席自由席

子どもも大人も楽しめます♪

3才~中学生 500円

高校生以上 1000円

落語*柳家小もん

(前橋市出身)

江戸大神楽(曲芸) ☆申込み受付中! ↑



←Instagram
Facebook→
楽しい事前情報
発信中! 見てね!



こぶた部 (子ども舞台鑑賞体験) NEWS ♪

7月28日アツまれ!夏休みの子どもたち!!での舞台鑑賞体験(こぶた)、子どもにも大人にも元気と感動を届け続ける人形劇団むすび座による“かくれ山の冒険”ご覧になりましたか!?夏休みのため鑑賞された親子のお話を事後ほとんど聞いていなくて寂しいですが、当日の出だしからの笑い声、盛り上がりはすごかったですね!

実は、アツまれ!夏休みの子どもたち!!で、この作品を観たい!と提案したのは“こぶた部”(子どもの舞台鑑賞体験部)なんです。

そして、こぶた部では当日鑑賞だけでなく、事前ワークショップも行いました。あの暑い暑い6月の下旬でしたが、こぶた部参加メンバーにより“かくれ山の冒険”の紹介をペープサートでおこない、その後みんなで思い思いのペープサートを作り、最後は、あそび虫メンバーによる歌とお話しを楽しみました。会員親子はもちろん、一般から参加くださった親子も終始「楽しい!」と口にされ、アツ夏の日も遊びに来てくれました♪みんなで作ったペープサートは、アツ夏の日ロビーに飾ったので、ご覧になられた方も、そこで写真撮影をされた方もいましたね♪

さて!来年は、どんな舞台を観たいですか!?こぶた部では、9月から来年度の鑑賞作品を選んでいきますよ。と言っても、「前に観たあのマジックすごかったよね。」「うちは観てないけど、観てみたいな。」「なんとかって劇団面白いんだって。」「よく知らないけど調べてみようか。」などなど・・・おしゃべりしているうちに、みんなで鑑賞出来たら素敵だなという作品が見えてきます。なので、こぶた部へは、気軽な気持ちで参加してみてくださいネ!そうそう、かくれ山の冒険を選んだのは「コロナ禍で窮屈な生活を強いられている子どもたちと、ファンタジーで楽しい舞台が観たい。」と言う声からでした。

こぶた部☆T

次回こぶた部9月2日&30日(金)10:00~事務所にて

その他の予定	対象・募集	日時*場所
落語体験教室	要申込み	8/29(月)または8/30(火)10:00~12:00 中央公民館3階音楽舞踊室
わらべうたの会	メンバー(見学可)	9/10・24・10/1・15・11/5・19・12/3・17 全土曜 ①10:00~ ②11:00~ 南部交流館
佐野あそびや	どなたでも	第1~第4水曜日 16:00~17:00 佐野公民館
うたごえサークル	どなたでも	9/3(土)18:00~20:00 事務所
わらべうた指導者講習会	メンバー	9/25(日)14:00~16:00 塚沢公民館
わらべうたあそび・まめっちょの会	乳幼児親子申込み	10/23(日)10:30~11:30 観音山ファミリーパーク工房 ※申込みは高崎子ども劇場へ
子どもあそびバザール	どなたでも	11/6(日)10:00~ 観音山ファミリーパーク 会員の子どもの達による子ども市、あそびのコーナーなど

その他、追加、変更、各イベントの詳細は、公式LINEや会員のおしゃべりLINEで告知

7/28 アツまれ！ 夏休みの子どもたち！

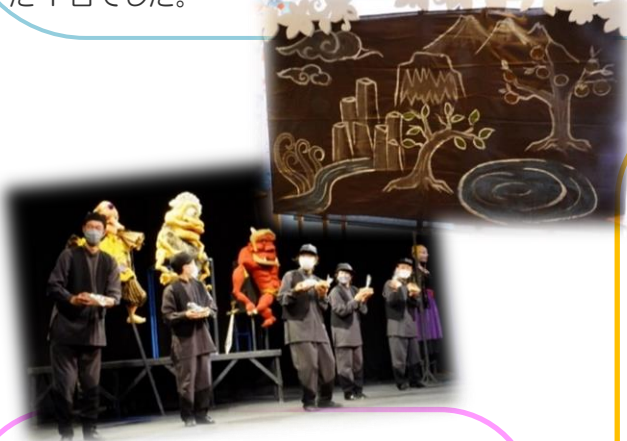
かくれ山の大冒険

待ちに待った久しぶりの大型人形劇。より一層楽しんじゃおーと、こぶた部（子ども舞台鑑賞）では6/26 事前ワークショップとして、登場キャラクターのペープサートを使った作品紹介コーナー＆自分の好きなペープサート作りをしました。そして作ったペープサートは当日に持って来てもらって、あゆみちゃん力作の『大きなかくれ山地図』と一緒に飾り、フォトコーナーを設けました。親子で思い出の写真を撮ってもらえて嬉しです。

当日は、ほぼ満員となった客席が見たくて開演前に何度も振り返ってしまったり、始まってからも大型人形の妖怪が怖すぎてしまわないかな（特にやまんば）と、気になっていましたが、途中から猫婦人の変身ぶりに恐怖し、ナオの頑張りを息をつめて見守っている自分がいました。そして、しっぽ折れねずみと別れ振り向かずに3歩目を踏み出した瞬間、遠くから踏切の鳴る音が聞こえ、夕焼け空の空き地に戻ってきていました、ナオも私も。私もナオと一緒にかくれ山へと迷い込んでしまっていたのでしょ。物語は原作を読んでいて知っていたはずなのに、不思議な感覚。やっぱり生の舞台はすごかった！これからも、少しずつでも、みたいが実現出来たらいいなと心から思った1日でした。（T. A）



「かくれ山の大冒険」では、キャストの方へブレゼント作りもさせていただきました。友だち親子で集まり、賑やかにバスボムと籠作り。観劇前にもう一つ、楽しい時間になりました。当日は、次々に登場する個性的な人形たちがコミカルで、「人形は怖かったけど面白かった。天狗が天国に行けなかったところ、笑っちゃった」と、娘は天狗が気に入った様子でした。子どもと一緒に笑ったり、ドキドキを感じられることも嬉しく、演者の方の表情や息づかいに「生」っていいな、とつくづく思いました。お話のラストは「そうだったのか」と不思議な感覚になり、とても素敵な時間でした。（A.. A）



7月28日文化会館で「かくれ山の大冒険」を鑑賞しました。毎年夏休みの楽しみの一つです。人形たちの個性豊かな風貌やキャラクターに会場の子もたちは大うけ！舞台を縦横無尽に使い、大きな人形を一人で時には二人で黒子に徹し操る劇団員の方に圧倒されました。人形の動きがスムーズでまるで人形自ら動いているようでした。また、舞台を彩る小道具もシンプルでありながらストーリーを引き立てるもので細部にわたるところまで考え抜かれている印象でした。劇団の方がお召しになっていた黒を基調にした衣装ですが、それぞれに植物をモチーフにしたデザインが入っていたりしてとても素敵。70分間あっという間でした。子どもたちが贈ったバスボムで疲れを癒やして頂ければ嬉しいとおもいました。感動をありがとうございました。違うお話もぜひみてみたいです。（G）

客席が徐々に暗くなると舞台が明るくなり、物語がはじまった。と同時にその世界に吸い込まれる。

自分は弱虫で勇気がないと思い込み、何事にも消極的で、ドッジボールさえも逃げるばかりの主人公”ナオ”。そんなナオが異世界に迷い込んでしまった。人間界から連れ去られ猫夫人の手下として使われている「猫」や、ネズミと協力しあい、最後には自分を猫にかえてしまおうとする猫夫人と対決する。猫夫人の秘密の鏡を割るため、赤鬼から剣を借り、その間に天狗から隠れ蓑を借り（?）、と見ているこちらがハラハラドキドキ、ナオと一緒に冒険している気持ちになった。そして最後は……伏線が見事に回収されていて、ストーンと腑に落ちる。周りの子どもたちも笑ったり、シーンとなったり、感情を総動員して観劇していた。やっぱりこうでなくっちゃ！

「行きて帰りし」物語は、子どもの心を成長させる。珠玉の作品に出合えてよかった！！（M）

感想～アンケートより～

- ・色々な動物や人間が出てきておもしろかった。主人公の男の子がたくさんがんばっていたところがあった。（小3）
- ・わくわくドキドキのはなしでした。おとこのこのうごかしかが、ほんものみたいですごかった。これからもがんばってください。（小2）
- ・人形一つ一つの動きが、本当にいきているように見えてすごかった。次の公演も楽しみにしています（o^）（小6）
- ・こわいときがでたとき、こわすぎてないちゃいました。あと、おもしろいときがいっぱいありました。にんぎょうげきのみなさん、さいしょから、さいごまで、がんばってにんぎょうをおもしろくうごかしてくれてありがとうございます。また、こんどもがんばってください。（小2）

まめっちょ presents 親子でわらべうた遊び

三年振り開催の「アツまれ！夏休み子どもたち」。乳幼児親子にも楽しんでもらえる企画をと、今年は高橋静代先生にお願いして「まめっちょ presents わらべうたあそび」を2ステージ、行うことができました。参加者は、あまり普段わらべうたあそびに馴染みのない方も多かったようで、最初は「何が始まるのかな」といった様子でしたが、高橋先生の優しい歌声と楽しい語り掛けに、すぐにリラックスして大人も子どももニコニコ笑顔に。小ホールは、穏やかでゆったりとした空気に包まれました。まめっちょメンバーによる大型絵本の読み聞かせにもみんな真剣。小さな娘さんを抱っこして会場から出てきたお父さんが、「楽しかった」とつぶやいていたのが印象的でした。(S)



プラとんぼづくり

アツ夏恒例のこくぼさんの工作教室は、参加者を募集すると、すぐに定員一杯になってしまいました。今年の工作はプラとんぼ。竹とんぼと同じ原理で、薄いプラスチック羽根がヒモを引っ張るとシュッと飛んでいくおもちゃです。

こくぼさんが、大きな模型を用意してくれて、ちょっと難しい糸の結び方を丁寧に教わったりして、一つ一つ作業を積み上げて行きます。

シールを貼ったり色を塗ったりも楽しそう。子どもたちが小さな手を一生懸命動かしながら工作を楽しんでいる様子は、とっても素敵。

低学年の子が多く、ちょっと難しいかな？と思いましたが、結果的にはみんなが大満足の仕上がりなのは、やっぱりこくぼマジック！本や動画じゃなくて、実際に目の前で教えてもらって、アドバイスしてもらって、時には手伝ってもらって。みんな、よかったね。楽しかったね。また、来年ね!! (I)

7/18 ざりがにつり&あそび虫夏の巻

〇毎年恒例だった、浜川公園でのザリガニ釣り。久々開催の今年は、子ども劇場ならではの楽しみも盛り込もう！と「遊び虫・夏の巻」が合流。「遊び虫」は、子ども劇場の中でも観劇の機会が減っている中、もっと身近で「観る」楽しさを体験してほしいと始まった集まりです。浜川公園の木立の中に紐を張って草木染の布を掛け、ミニシアター会場の出来上がり。

公園の小川でそれぞれザリガニつりを楽しんでから、パネルシアターの「まるくておいしいよ」では大きなすいかやバースデイケーキを分け合ったり、カッパときゅうりの絵本を読んだ後、お土産にきゅうりをもらったり、屋外ならではの解放感を味わえたひと時でした。

「遊び虫・秋の巻」もお楽しみに！ (あそび虫・S)



8/7 手ぬぐい染めワークショップ

落語体験教室(8/29・30)参加者対象の手ぬぐい染めワークショップ！子ども劇場で手ぬぐい染め、スタッフで行くけど、参加する？

「行く行く！」藍染もあるらしいよ。

早速、白のTシャツを買って、ちゃっかりお家で準備万端。

スタンプでかわいく白の手ぬぐい。藍染手ぬぐい。

みんなの染物が終わると「Tシャツ染めていい？」エッ！持ち込みありなの？という空気も何のその。大作も良い染具合。

生まれたときから会員の息子(40歳)と孫たちは劇場の面白い事やってみよう！の考えがしっかり身に付いている。自由な発想で楽しめる。会員の特典は体に染みつくのかな。(プーさんサークル ばあ 66歳)

